

名古屋市議団



北区
岡田ゆき子

天白区
田口一登

緑区
みつなか美由紀

ご意見・ご感想をお寄せください

460-8508 名古屋市中区三の丸 3-1-1 名古屋市役所内
TEL:052-972-2071 FAX:052-972-4190 HP



NEWS



市民の願い 届け 実現へ

暮らしに背をむける、
広沢オール与党市政に

対決!

広沢市政が発足して1年。議会ではこの間、広沢市長が提案した217議案すべてに、自民・名古屋民主・公明・減税・維新がそろって賛成するなど、オール与党市政が完全復活しています。物価高騰で苦しむ市民にさらに負担を強いる、水道料金の値上げに反対したのは日本共産党だけでした。

日本共産党は、オール与党市政とキッパリ対決し、皆さんの切実な願いを実現するために、市民運動とスクラムを組んでフル稼働しています。

国の交付金を活用した 給食無償化、水道料金軽減などを要請



日本共産党名古屋市議団は12月4日、広沢一郎市長に、国が補正予算に計上した重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策について申し入れました。
申し入れでは、◆上下水道料金の軽減◆小学校給食の無償化◆お米券の配布◆中小企業への賃上げ助成◆介護・障害・医療施設への水光熱・燃料費等の補助などを求めました。国に対しても消費税の減税などを要望するよう求めました。詳しい内容は市議団ホームページでご覧いただけます。

請願の採択を求めて討論 インボイス廃止、負担軽減措置の継続を



11月定例会で、田口一登議員が、市民が提出した「消費税のインボイス制度の廃止または2割特例・8割控除の継続をもとめる意見書提出に関する請願」の採択を求めて討論しました。

消費税のインボイス制度の廃止
または2割特例・8割控除の継続をもとめる
意見書提出に関する請願

共産	自民	民主	公明	減税	維新
○	×	×	×	×	×

国まちではなく 市独自に実施を要求 学校給食無償化

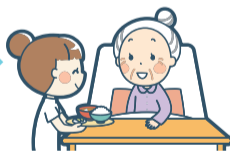


9月定例会でみつなか美由紀議員が小学校給食の無償化を市独自に実施するよう求めました。広沢市長は、「国の責任において実施すべき。国主導で持続可能な全国一律制度を創設し、必要な財源を確保するのが望ましい」と述べるにとどまりました。



田口一登議員
(天白区)

介護事業所の危機



ヘルパー不足の 訪問介護事業所に支援を

田口一登議員は6月定例会で職員の賃上げ、事業所の経営安定のため「訪問介護の基本報酬を早急に元の水準に戻すこと、介護保険の国庫負担割合を引き上げること」を国に要望するよう求めました。
また、市独自の訪問介護事業所への特別の支援を求めました。



岡田ゆき子議員
(北区)

就職氷河期世代の 非正規シングル女性への支援を

11月定例会で、岡田議員は、就職氷河期世代非正規シングル女性が、シングルを選択することへのまわりの圧力や孤立感など、コロナ禍を経た現在の実態把握と、市として家賃支援・正規雇用への転換などの直接支援を求めました。



高齢者の 補聴器購入助成



9月定例会でみつなか美由紀議員は、全国で広がっている補聴器購入助成を、来年度から実施に踏み出すように求めました。

みつなか美由紀議員
(緑区)



広沢市長

「来年度、効果的な制度を検討していく」

広沢市長は「2026年度に耳鼻咽喉科医や言語聴覚士などに意見をきく『検討会』を設置する。効果的な補聴器の使用につながる助成制度についても、この『検討会』の中で意見をききながら検討していく」と答弁しました。

共産党名古屋市議団は、2019年6月以来、6回の本会議質問で助成制度創設を求めてきました。